

松正工機株式会社

自動溶接機導入により生産性を向上させ 純水関連装置事業への本格参入

松正工機は大規模プラントの配管工事を全国で展開する。近年は人材の採用や育成に取り組み、酸洗工場を新設するなど技術力の強化を図っている。サニタリー部門では増える仕事量に対応し、電圧の制御や溶接後の「焼け」を防止する高機能の自動溶接機を導入。生産性も向上し、サニタリー部門の工事量拡大に貢献している。

会社概況

プラントの配管や溶接

松正工機は1970年に岡山県倉敷市で創業し、同市の水島コンビナートでプラントの配管や溶接を手がけた。工事の内容は産業ガス関連、サニタリー関連、石油化学関連が3本柱。業容の拡大とともにエンドユーザーの業種は医薬や食品、半導体などに拡大。事業拠点も本社を置く倉敷市のほか、堺市堺区や神奈川県大和市に営業所や工場を配置する。

強みは約50年にわたる配管や溶接など技術力の蓄積と設計部門を社内を持つこと。本社のエンジニアリング部とベトナムの現地法人が2次元や3次元のCADを駆使し、設計する。2021年に「はたらく中小企業300社」、2022年に「健康経営優良法人2022」にそれぞれ選定されている。



2021年に竣工した本社工場

事業内容

サニタリー関連の需要増加

人材の採用や育成に取り組んでおり、2016年に社員寮を整備し、2017年に新卒の1期生が入社した。また、2021年に配管の表面仕上げに欠かせない酸洗の工程を内製化するため酸洗工場を岡山県倉敷市に新設。技術力を高めるための設備投資も平行して進めてきた。

工事の三本柱で近年、需要が増えたのがサニタリー関連だ。純水装置の配管を設計から製造、現場施工、施工管理、検査、試運転まで一括して請け負えることを強みとし、発注に応じてきた。ただ、溶接箇所凸凹があればパイプ内を流れる水が滞留し、菌などが発生する原因となるなどの課題があり、工事量を増やすには溶接などの工程を自動化する必要があった。



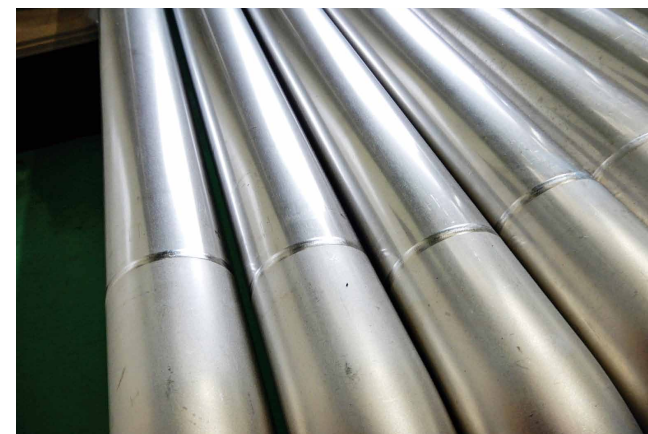
電流や電圧をプログラムで制御

事業成果

溶接時間を20%短縮

製薬などのプラントに純水装置を設置する工事が増えたものの対応できる仕事の量を超えていた。そこで、ものづくり補助金を活用し、2016年にパイプ切断機と自動溶接機を導入した。自動溶接機はパイプの厚さなどにより、電流と電圧を4段階で制御し、ヘッドを変更することで直径が18ミリメートルから152ミリメートルまで対応する。

自動溶接機の導入により、凸凹のない均等な溶接ができ、外気を遮断した状態での溶接により、溶接後の酸化を防ぐ。また人手による溶接と比べて時間は20%短縮し、生産性の向上にもつながった。顧客からの仕事の依頼にも対応できるようになり、現在は仕事量全体の半分程度がサニタリー関連になった。



凸凹のない溶接が可能に



ワンポイント

工場群支える地場企業

水島コンビナートには製油所、製鉄所、化学や自動車などの工場が集積し、倉敷市の工業出荷額は約3兆4000億円（2018年工業統計調査）と岡山県全体の45%を占め、単一の自治体でも全国トップクラス。集積する工場群を支えてきたのが地場企業だ。倉敷市内には自動車部品や金型、溶射、設備のメンテナンス、金属加工などを手がける企業が多数ある。培った技術力をさらに研鑽を重ね、海外に顧客を持つ企業も少なくない。

代表取締役

まつ ぎ かず ひろ
松木 一博さん



会社概要

company profile

設立	1977年	所在地	岡山県倉敷市南畝7-14-15
資本金	2000万円	TEL	086-456-2052
従業員数	63人	FAX	—
売上高	23億円(2022年7月期)	URL	https://matsusho-inc.jp/